

〔北総文化研究センターから〕

公開講座報告

昨年10月14日、21日、28日の3回にわたって、学外者を主とした対象として、「公開講座」が開催された。以下はその実施報告である。

1. 主催者と総合テーマ

主催者 愛国学園大学

総合テーマ「長寿社会を豊かに生きる」

2. 場所および事務局

場所 本学1号館2階視聴覚室

事務局 学務課

<各回の講義内容と講師>

第1回

1. 日時 2006年10月14日（土）

10時30分～12時

2. テーマおよび講師

テーマ「ものの見方、考え方と人生」

講師 鈴木 由紀生 教授

3. 講義内容

- 1) 生きるということはどう考えるか
- 2) どう生きるか 3) 自分自身をどう見るか
- 4) 人間、他者をどう見るか
- 5) 世界、社会をどう見るか 6) 人生とストレス

多くの資料や材料に基づいて、説得力あ

る講義をされ、「おわりに」として、最後に吉幾三の「ありがとう」という歌唱をビデオで紹介された。この歌はあまり、知られていないが「人生というものが、いかに多くの人々によっているかということ」に感謝し、ありがとうという気持ちを歌ったもので、多くの参加者に感動をあたえた。

第2回

1. 日時 2006年10月21日（土）

10時30分～12時

2. テーマおよび講師

テーマ「日常に潜む金銭・契約トラブルと高齢者の権利保護」

講師 鈴木 奈穂美 講師

3. 講義内容

高齢者を対象とした金銭・契約トラブルが増加している現在、契約社会を生きるため、どのような対応方法があるかということを中心として、1) 高齢者の家計の現状 2) 高齢者の契約トラブルの実態 3) 契約トラブルにあった場合の対応 4) 契約・金銭トラブルにあう前の予防策 5) 金銭・契約トラブルと高齢者の虐待 「おわりに」の順で、

いずれも具体的なデータが配布され、またそれらをパワーポイントを用いて、わかりやすく説明された。

いずれも、現実的な問題であるので、聴講者からはもっと時間をとって、むしろ個々のテーマを1回ずつぐらいに分けて説明して欲しいという意見も出された。

第3回

1. 日時 2006年10月28日(土)

10時30分～12時

2. テーマおよび講師

テーマ「良寛の生涯に見る健康問題と
環境問題—高齢化社会のプライド
と自信」

講師 矢後 長純 教授

3. 講義内容

1) 平均寿命で世界一、2005年には人類初の超高齢化社会に到達した日本は、人類全体に対して、高齢化社会の意義と理想を示す生物学的な責任がある。 2) 哺乳類進化の第1原理は生殖、第2は共創である。生殖+共創が人類の長寿である。人間文化は、共創の成果である。 3) 共創の主たる力は、無意識の世界から湧き出てくる。教育や、訓練の目的は、無意識の世界を磨くことにある。高齢者は、高度に磨かれた無意識をもって人間文化に貢献することができる。

以上のような趣旨に基づいて「共創」という言葉をキーワードにして、先生が近年力を入れておられるロボット・セラピーの話や、良寛和尚の家系にまで及ぶ話をパワーポイントとあわせて、独特のユーモアあふれる語り口で講演され、聴

講者は楽しみながらも深い感銘を受けた。

<総括>

今回の講座は、各回とも40名前後の参加があり、宣伝などをほとんど行わなかった割には大成功であったと思う。とくに、学務課のご努力で毎回参加者から感想や意見をアンケートの形で調査した結果は、長くなるので詳細には触れられないが、概して非常に好意的な感想が多く、前述のようにもっと時間をとって欲しかった、もっとたびたび開講して欲しい、などの意見が多く寄せられた。ただ、総合テーマからある程度予想された結果ではあるが、参加者の多くは60歳代以上の方々であった。今後は、年代をこえて、若い方々にも参加してもらえるような企画作りがひとつの課題であろう。